

関市市民活動センターだより「CIPS」

しゅぷす

CITIZEN'S POWER NEWS



特集

## 市民活動にソーシャルメディアを活かす3つのポイント

はじめに

フェイスブック、ツイッター、ミクシィ、聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。市民活動団体にとって、近年急速に利用者が伸びてきているソーシャルメディアを活用

することが、とても重要になってきています。今回は、市民活動団体が、ソーシャルメディアを活かす方法をお伝えします。

### 1. ソーシャルメディアとは何か

ソーシャルメディアとは、インターネット上で、自分で登録をして、自分の発信したいことを公開するWebサイトやネットのサービスのことをいいます。よく対比される「マスメディア(テレビ、新聞等)」は、情報発信をするためには、巨大な設備や資金が必要でしたが、ソーシャルメディアでは、お金をかけず、個人が自由に発信

することができます。つまり、個人がメディアになれるのです。主なソーシャルメディアは、フェイスブック、ツイッター、ミクシィ、ブログ、ユーチューブ等があげられます。これらは現在利用者が爆発的に伸びています。利用者数世界1位のフェイスブックは、日本で1382万人(2013.2現在)とされています。

### 2. 各ソーシャルメディアの特徴

まずは、主なソーシャルメディアについて、具体的に特徴をご紹介します。

#### facebookの特徴

- 原則実名登録
- リアルに関係のある人と関係を深めるツール
- 「いいね!」機能
- 個人で使うfacebook
- 団体に使うfacebookページ
- みんなで使うfacebookグループ
- 「登録者のうち、 $\frac{1}{3}$ が積極的に使い、 $\frac{1}{3}$ が見ているだけ、 $\frac{1}{3}$ はログインしていない」とも言われている。

#### twitterの特徴

- 日本で一番ユーザーが多いソーシャルメディア  
→アクティブユーザー2000万人以上
- 140文字
- 情報を拡散する
- 専門家や実務家など様々な人、団体がやっているの、これまでと違った情報収集が可能
- カスタマイズしないと使いにくい
- 情報の信憑性の判断が難しい

#### mixi, ブログの特徴

##### mixi

- 日本発で、最近まで日本でのユーザー数NO.1。しかし、現在利用者数激減1400万人
- 趣味等でつながる「コミュニティ」

##### ブログ

- 過去の記事も蓄積でき、信頼度UP
- じっくりと詳しい内容を書くことができる
- ブログを中心に、他のSNSと連携していかによりブログを見てもらうか